



ラポール 2



夢 かぎりなく

●『新春特別講演会』が盛会裡に終了！

●平成24年度 賀詞交歓会が盛会に行われました。



宮城県倫理法人会 活動理念

- 一、倫理経営を通して活力ある企業を創る
- 一、倫理運動を通して明るく豊かな地域社会を創る
- 一、倫理活動を通して未来を担う新進気鋭の人材を創出する

ごあいさつ



宮城県倫理法人会 副会長 齋藤 元

立春が過ぎてもまだまだ寒い日が続いております。しかし確実に、庭の草花を観ておりますと春の予感がそこかしこで芽吹いております。

さて、私の最近の心境をお話したいと思います。

昨年の震災から私は事業経営も家族生活も町の様子も激変したように感じております。私は建設業ですので震災前は殆ど新築工事や新設道路工事等があたりまえでした。しかし現在は新設工事がストップし災害復旧工事が大多数となっております。復興需要で仕事は大幅に増加しました。そこでの影響は職人さんの不慣れた作業により労働災害が宮城県内では特に多発しております。私の会社での対策は会社のトップはもとより責任者が現場に出向き朝礼(危険予知活動)に参加し作業員への愛情言葉(君たちは一人ではないよ)で励ましております。当然通常の安全作業の確認は行いますがそれだけでは災害が無くなりません。要は厳寒の中で戦っている作業員みんなへの愛情なのだと思います。指導の厳しさだけでは解決はしません。

また家庭にあっては家族みんなが集まる機会がぐっと増え、見た目には絆が強まりました。

しかし、そこからは今まで見えなかった事が見

えてきました。わたしは家族のことは全部知っているという自負しておりましたが、そうではない事も解りました。自分は子供たちに表面上で優しくしていたような気がしています。子供たちは意外と将来のことをクールに考えていることが会話の中で感じました。子供や家内には震災を機に優しくなり成長した様な気がしています。

街の様子ですが沿岸部はまだまだ復興の兆しさ見えませんが、確実に他県からの流入が多くなっております。特に仙台市では人口105万人を超え業態指数が上昇しております。また第3次補正予算も通過し、いよいよ復興マネーが入ってきますのであらゆる事業が忙しくなることが予想されます。一方では土地勘のない不慣れた人々が大勢流入しておりますので、交通事故や人的トラブル、金銭トラブルなどが心配でなりません。日ごろより注意することが肝心と思います。

最後になりましたが、この震災で被災され大変辛い思いをしている会員が大勢おりますが、被災が大きい会員ほど前に前に希望を持って頑張っている姿を見聞きし勇気を頂きました。自分も頑張らねばと！

『新春特別講演会』が盛会裡に終了!!!

■日 時：平成24年1月10日（火） 16：00～17：40
 ■会 場：パレスへいあん仙台 3F グレースホール

創刊33周年を迎えた月刊誌「致知」の編集長である株式会社致知出版社 代表取締役 藤尾秀昭氏を講師にお迎えして新春特別講演会を開催いたしました。

月刊誌「致知」は創刊以来、一貫していつの時代でも問われる『人間学』を追及し続けており、京セラの稲盛会長やウシオ電機の牛尾会長など見識ある財界人に熱心なファンを持ち、独自の”木鶏クラブ“という勉強会を全国で展開しております。また、月刊誌「致知」を社員教育のテキストとして活用している企業も全国に広がりを見せているとのことでした。

昨年、知名度の高い藤尾秀昭社長を講師にお迎えし、5月30日に特別講演会を開催することを決定し鋭意準備を進めていたところ、3.11東日本大震災に見舞われ、結局、特別講演会は無期延期を余儀なくされました。

その後、震災前と同様の活動を再開することとなった昨年10月(震災から7ヶ月経過)無期延期としていた特別講演会の再開に向け、日程調整が行われ、1月10日に新春特別講演会として開催することを決定したところです。

新春特別講演会は全国的に知名度の高

い講師をお招きしていることから、500人規模による開催を目指して早期に広報活動を展開してきましたが、県下单会の絶大なるご支援により、目標を超える約560名のご参加をいただき開催することが出来ました。

講演会では、講師が編集者として取材時に多くの人々と出会い、また読者の皆様との出会いの中で、様々な生きざまに接し感動を味わい、自らの経験してきた苦しい時代をも踏まえ、熱弁を振るわれた90分間の講話は、参加された方々に深い感動を与え、大盛況のうちに終了いたしました。

なお、会場キャパから満席を超え、十数名が立席となってしまいました。立席の皆様には、この場をお借りして深くお詫びを申し上げます。

ご参加の皆様には、盛会の開催にご協力いただきましたことに感謝を申し上げます。

また、運営にあたりご支援いただきました単会の研修委員長、研修副委員長の皆様に感謝を申し上げます。ありがとうございました。

(宮城県倫理法人会 研修委員会)



平成24年度 賀詞交歓会が盛会に行われました。



- 日 時：平成 24 年 1 月 10 日 (火) 18:20 ~ 19:50
- 会 場：パレスへいあん仙台 3F グレースホール

宮城県倫理法人会の年初の一大イベントであります「平成24年度賀詞交歓会」は、県内の金融機関、そして政府系金融機関からご来賓をお招きし、県内会員総勢330名のご参加のもとに開催されました。

オープニングでは、文化部優舞会による“さんさしぐれ”舞踊により、ご参加の皆様をお迎えし、佐藤俊明副会長の開会の言葉で幕を開けました。

原田善征会長による年頭の挨拶に始まり、その後、保坂浩一幹事長によるご来賓の皆様のご紹介を行い、ご来賓を代表して、七十七銀行 支援部長の金井清様より激励のお言葉を頂戴いたしました。続いて、当会会員である各議員の皆様をご紹介のうえ、皆様から一言ご挨拶を頂戴したところです。

次に乾杯に入り、(社)倫理研究所 田中裕人理事から東日本大震災からの1日も早い復旧復興と宮城県倫理法人会の普及目標必達を祈念して、力強い“乾杯”の発声により開宴となりました。

開宴後は、ご歓談の合間を縫って、渥美秀明副幹事長の進行により、本日まで参加の各単会の皆様にご登壇をいただき、各単会の会長または代表者から熱い“新年の抱負”をご披露していただきました。

宴も酣のうちに、櫻井忠男副会長による手締め、そして齋藤元副会長による閉会の言葉をもって無事に終了となりました。

ご参加いただきましたご来賓の皆様、役員会員の皆様、盛会にご協力を賜り、誠にありがとうございました。

(宮城県倫理法人会 広報委員会)



仙台泉倫理法人会

◆日時 平成 23 年 10 月 23 日 (日) ◆場所 杜の都ゴルフ倶楽部

★親睦ゴルフ大会



10月23日(日)仙台泉倫理法人会の親睦ゴルフ大会を大和町の杜の都ゴルフ倶楽部に於きまして、16名の参加の下開催しました。

前日の大雨で開催を心配しましたが、絶好の秋晴れとなり、美味しい空気と綺麗な紅葉を満喫しながら、ナイスショット・珍プレイを続出し、楽しい一日を過ごしました。

なお、優勝者は実力とハンディーキャップに恵まれ、高橋きくゑ会長がみごと優勝されました。

(仙台泉倫理法人会 研修委員長 松田勝幸)



大崎倫理法人会

◆日時 2012年1月10日(火) ◆場所 芙蓉閣

☆今年初のMS・新年式開催!

1月10日、2012年最初のモーニングセミナーが開かれました。

菅野会長の年頭の挨拶では・・・3.11の震災から最早1年、生活や仕事で何が変わったか、どう変えられたか。倫理活動ではどう変えられたか。会員一人一人の意思がひとつにならないと変わらない。今年の第一の目標はモーニングセミナー 50社出席。

会員相互の交流やPRの場を設けるイベントを計画なので、会員皆様のご協力をお願いしたい!・・・との熱い想いを語られました。

その後、テーマを「今年の抱負!初夢は?」と題した出席者全員による1分間会員リレースピーチが行われ、震災復興・今こそ前向きなビジネスチャンス・企業力を高める・明るい家庭作り・独身生活にピリオドを打つ 等々全員に語っていただきました。



(大崎倫理法人会 広報委員長 今泉信吾)

仙台宮城野倫理法人会

平成23年12月30日



▲2011年12月30日卯年最後のモーニングセミナー参加会員・来年の抱負に胸ふくらませ

仙台 第616 MS
宮城野
モーニングセミナー
ホテルレオパレス仙台 1月6日(金)

仙台 第613 MS
宮城野
モーニングセミナー
ホテルレオパレス仙台 12月16日(金)

仙台 第614 MS
宮城野
モーニングセミナー
ホテルレオパレス仙台 12月23日(金)

新年にあたって



仙台宮城野倫理法人会 和野邦彦会長

倫理の学びは実践をとおり、社会のなかで役立たせて行くことが大事。企業人として企業理念や行動方針を、行動に移す自覚を向上させたい。

当宮城野倫理法人会は、8月に会員数を130社に普及拡大する。倫理の仲間、輪を心から広めたいと願う。是非、やり遂げるイメージを強く描き、積極的な行動で臨みたい。

倫理経営塾では「何のための仕事か」「会社の存在意義」など、経営の真髄を学んだ。自分しか見えてなかった己に決別、周囲にいつも感謝し恩に報いる生きことを学んだ。卒業式で塾頭をはじめ講師陣、そして家族や社員を前に「私の決意」の宣誓を思い出すと今でも感涙にむせぶ。

難しい課題に取り組んでこそ、達成したときの喜びは大きく自己を成長させる。

毎日が学びのなかであって、まさに実践こそが大事である。「苦難は福門と思える自分が居れば幸せである」と結んだ。



法人スーパーバイザー 長橋護様

挨拶は上から下へ心から実行。上から下からは駄目。挨拶させてもらう気持ち。先手は当然、ドレミの♪音階「そ」で、明るく発声がコツ。挨拶は心と心をつなぐ金の鎖、魔法のコトバなのだ。

人間の願望たった4つだ。①愛情 ②賞賛③認識④活用。人はつまり愛されたい、褒められたい、認められ



たい、役にたちたい存在なのである。「認められたい」の一例として当社は、新入社員教育担当は入社3年生。本気になって、悩みながらも毎年実に立派にやり遂げてくれる。

飲み会の席は、「初恋について」等のテーマでショートスピーチ。人間性が表出し社員同士の結束が一段と強まっている。

「この倫理の学びを、そのまま実践すれば良い」と声高く結論づけた。



カラーオフハート 主宰 阿部ふみか様

「色と笑顔で好感度アップ！」 私たちは毎日、色に囲まれ生きている。カラーセラピストとして色や癒しを学ぶうちに、心と体は切り離せない存在であることを痛感。内面(心)を癒すには、外側(顔・身体)を変えるのが効果的と気付く。それ以来「笑顔」の大切さを広める活動に関わり続けている。

赤は仕事の出来る人が好む色。行動的、活力的、社交的である。反面、短気ですっかち。暖色系は、血流を上昇させる。赤い下着が流行ったが体温が3度上がったとのデータがある。

ピカソ92歳、マティス85歳、北斎は88歳。職業としてカラフルな色を扱う画家は、ボケなく実際に長寿命が多い。

頭で分かっている、心はそう簡単には変わらない。心を変えるなら、まず外側変革。見た目、表情を変える。笑顔でいると心が自然となごむ。

運動しないと硬くなるのは顔も同じ。5カウント間、目の開閉一日3クルーで表情筋が活気づき、変身出来る。愉快だから笑顔になるのではない、顔が笑っているから心が「楽しい」と勘違いし、明るい自分を造ってくれると力説した。



▲24年度新任県内レクチャー。左から菅原正和、千葉厚。中央・沢田秀二。右から櫻井光雄、関孝エ (11月10日・ホテルレオパレス仙台)

登米市倫理法人会

◆日時 平成24年1月10日(火) ◆場所 ホテルニューグランビア

★今年初モーニングセミナー



24年幕開け登米市倫理法人会の初モーニングセミナーが1月10日ホテルニューグランビアで朝5時半役員朝礼、6時よりモーニングセミナーが行われました。

モーニングの開会にあたり、伊藤相談役よりウーロン茶で乾杯の音頭をとっていただきました。

小泉会長より新年の挨拶と今年度拡大目標160社と発表があり、宮城県の牽引役となるように会員一丸となって、日々精進していただきたいと期待と願いの挨拶がありました。今年も登米市法人会倫理にとって大いに燃える一年になることでしょう。

(参加23社27名)



◆日時 平成24年1月6日(金)～8日(日) ◆場所 愛知県蒲郡西裏温泉

★登米市倫理法人会 伊藤俊郎相談役 倫理経営インストラクターに認定されました。

去る、24年1月6日～8日(3日間)の日程で愛知県蒲郡西裏温泉において、研修会が開催され、その席上、今まで法人レクチャーでありました、伊藤俊郎相談役(県 拡大委員長、若鯨会長)がさらに上のクラス、倫理経営インストラクターに社団法人倫理研究所から認定されました。

今年は全国で17名、東北北海道で5名、県内は仙台広瀬の扇 功(県研修委員長)さんと2名のみでした。

「倫理経営インストラクター」とは、どういうものか、簡単に言いますと。

法人会員に対して倫理講話と倫理指導を行うことができる終身資格です。それは、真摯に倫理経営を実践する経営者の輪を広げ、この日本をよくする倫理運動を推進していくために欠くことのできない重要な存在です。講話、指導により事業、商売の発展をもたらす社員やそれぞれの家庭の幸福に資することが倫理経営インストラクターの使命といえるでしょう。(倫理経営インストラクター研修資料より抜粋)

伊藤俊郎さんはこれまでも、21年最高裁判所長官表彰を受賞。22年職場の教養(新年1月号)表紙に掲載され、22年倫理17,000ライセンスに認定される。など数々の功績に対して各界より表彰を何回も受けております。

宮城にそして登米市にこのような学びと実践を積み重ねた指導者がいるという事は、我々倫理法人会にとって大きな励みであるとともに、大きな宝とも言えるでしょう。倫友もこの機を捉え気軽に相談に乗ってもらい自社経営を大いに発展させてもらいたいと思います。

これからも、伊藤俊郎倫理経営インストラクターの益々の活躍をお祈り申し上げます。

本当におめでとうございました。



伊藤俊郎 相談役



扇 功 県研修委員長

(登米市倫理法人会広報委員長 鈴木 衛)

仙台若林倫理法人会

仙台若林倫理法人会 新春特別講演会

接客革命 「失礼致します」「ありがとうございました」は今や非常識 めざすは業界No.1! 発想の転換が「接客」を変える!!

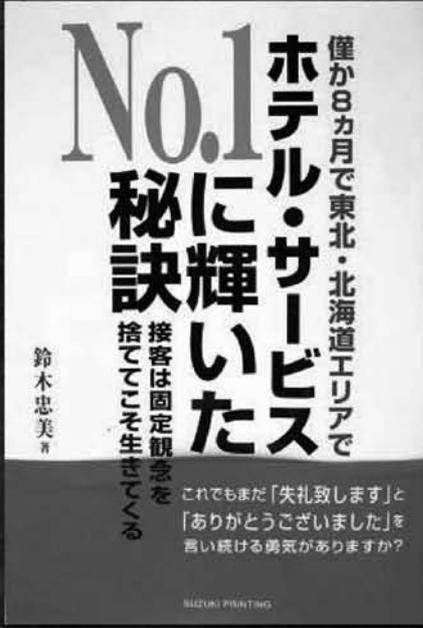
～クレームの絶えなかったホテルをわずか8ヶ月で東北・北海道エリアでホテル・サービスNo.1に輝かせた秘訣とは～
平素は大変お世話になりまして誠にありがとうございます。

皆様におかれましては新年を迎え、新たな目標に向けてスタートを切られたことと存じます。先行きの不透明な社会経済、消費者の多様化、競合環境の激化、さらに昨年の大地震の影響なども加わり、私たちのビジネス環境は予断を許さない状況となっています。

そうした中、皆様のお役に立つビジネス情報をとの趣旨で、仙台若林倫理法人会では新春特別講演会を開催することになりました。ホテル一筋43年間で修得したご自身の体験、実践から紡ぎ出した独自の哲学がベースとなっており、今や全国各地で引っ張りだこの講演です。接客、サービス業の方はもちろんのこと、すべての業界に通じる内容であり、人間関係を円満にし、人生を豊かにするための秘訣としても大変役に立つとの声が多数寄せられています。

新年早々のこの時期にご参加いただき、事業経営に、そして人生にお役立ていただければ幸いです。ご来場を心よりお待ちしております。

仙台若林倫理法人会 会長 畑中健作



僅か8カ月で東北・北海道エリアで
No.1 ホテル・サービス
秘訣に輝いた
接客は固定観念を
捨ててこそ生きてくる

鈴木忠美

これでもまだ「失礼致します」と「ありがとうございました」を言い続ける勇気がありますか?

SUZUKI PRINTING

すずき ただみ
<鈴木忠美氏プロフィール>

1969年盛岡グランドホテル入社。料飲課を皮切りに、レストラン課長・料飲企画部長・副総支配人を経て、1996年総支配人に就任(1998年同取締役)。在職中に後進の育成のために専門学校盛岡カレッジオブビジネスで講師を務める。岩手県初の飲料サービス部門への表彰、岩手県青年卓越技能表彰受賞を知事より受賞し、「おもてなしの達人」に。取締役サービス部支配人兼任。2003年東北6県宴会場支配人協議会(東北BMC)会長就任。2005年ホテルシティプラザ北上入社。在職中は取締役サービス部支配人。現在は山形県東村山市のクワハウス暮点にて活躍中。また全国のホテル、旅館などで構成されるBMC(全国宴会支配人協議会)の東北ブロック会長(5期9年目)料飲業務従事者の資質向上を目指し、教育研修会を企画・運営を行っている。



講演のポイント

- 常識を破り発想を変えた「接客」とは
- 即実践できる具体例を多数提示
- あらゆる業種・業態に役立つ、モノの見方、発想の仕方
- 人材育成、組織の活性化
- 顧客満足度の高いサービスの提供
- 新入社員(学生含む)から経営者まで役立つ内容

この本は、自費出版でありながら、口コミで売れに売れ7000冊を超えてもなお、売れ続けているまさに「奇跡の本」です。
当日会場で購入します(1,200円税別)

日時/2012年2月9日(木) 開場:18:00 開演:18:30 ※時間厳守願います。～20:15終了予定
会場/仙台市民会館小ホール 参加費/(前売り)2,000円(当日)2,500円

お申込み・お問い合わせは仙台若林倫理法人会会員までお願いいたします。
宮城県倫理法人会事務局 ☎022-217-0057(担当中村)